

4. 図面集

- 図-1 地形
- 図-2 水系
- 図-3 緑地
- 図-4 自然の現況についてのまとめ(植生)
- 図-5 公園緑地
- 図-6 公園敷地周辺の学校、公共施設、文化財
- 図-7 防災マップ
- 図-8 公園敷地周辺の交通(アクセス)
- 図-9 敷地踏査マップ
- 図-10 敷地現況写真
- 図-11 ゾーニング図
- 図-12 動線図

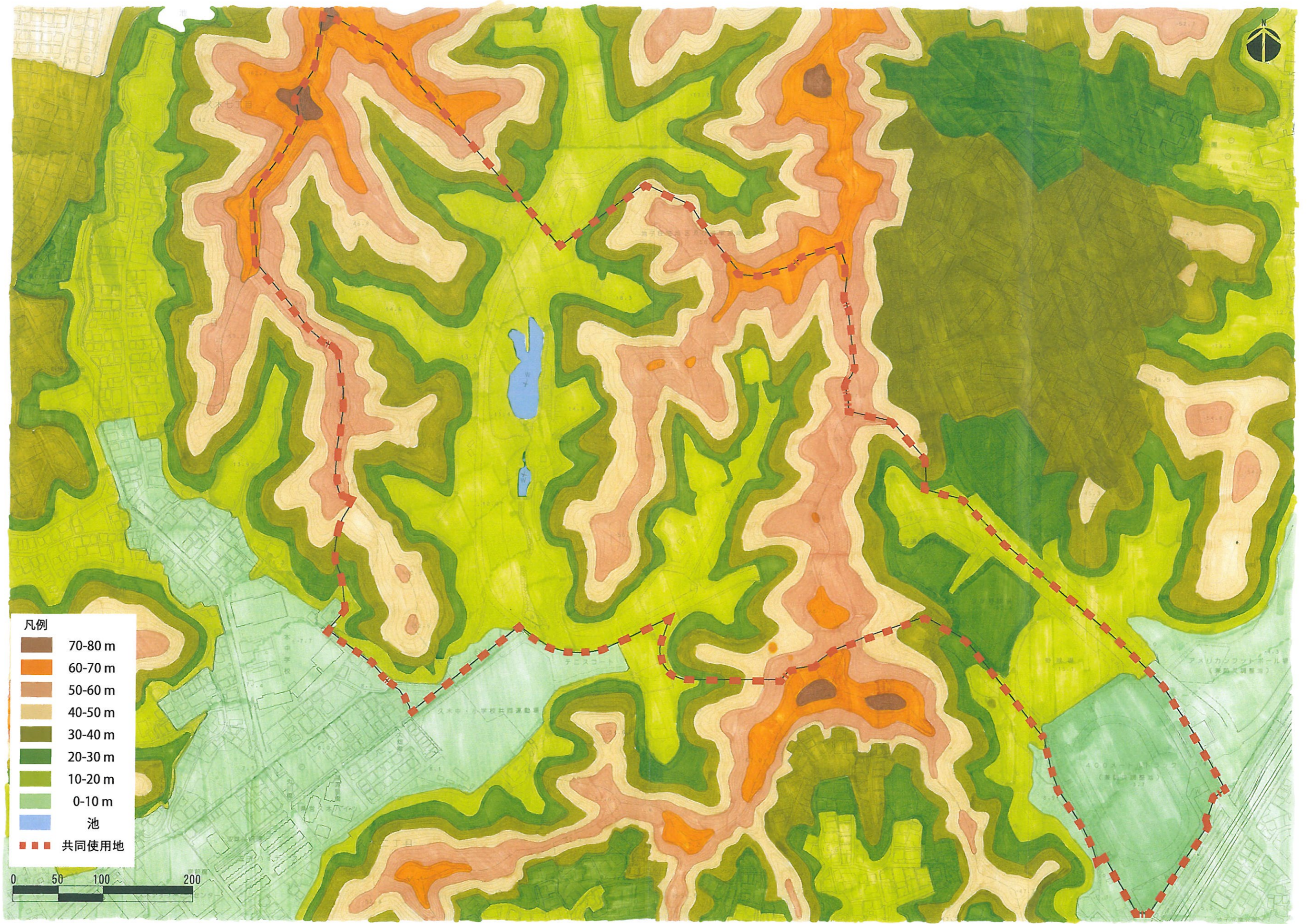
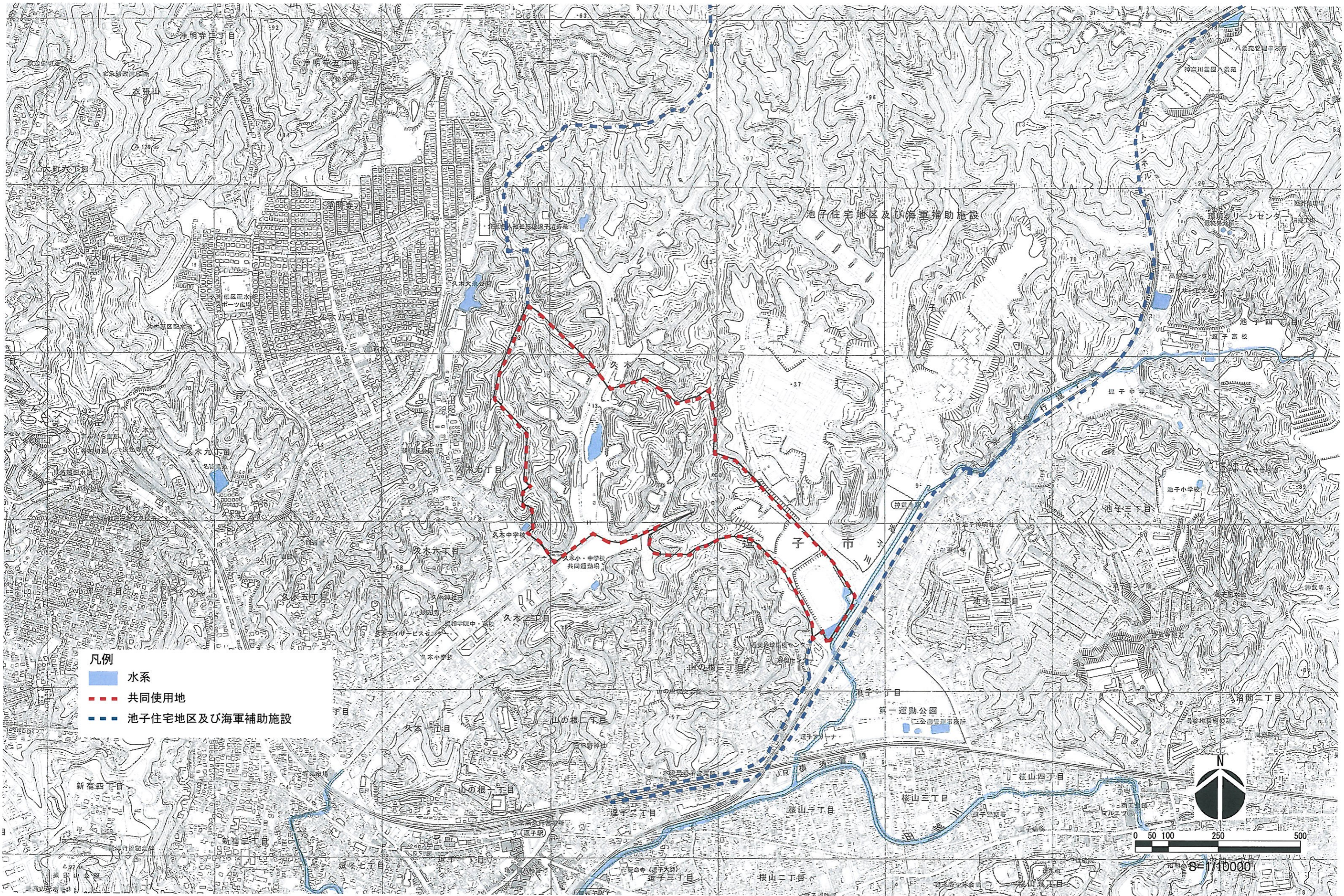


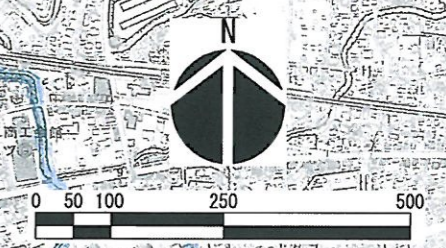
图-1 地形

S=1:4000

LA-01



- 凡例
- 水系
 - 共同使用地
 - 池子住宅地区及び海軍補助施設

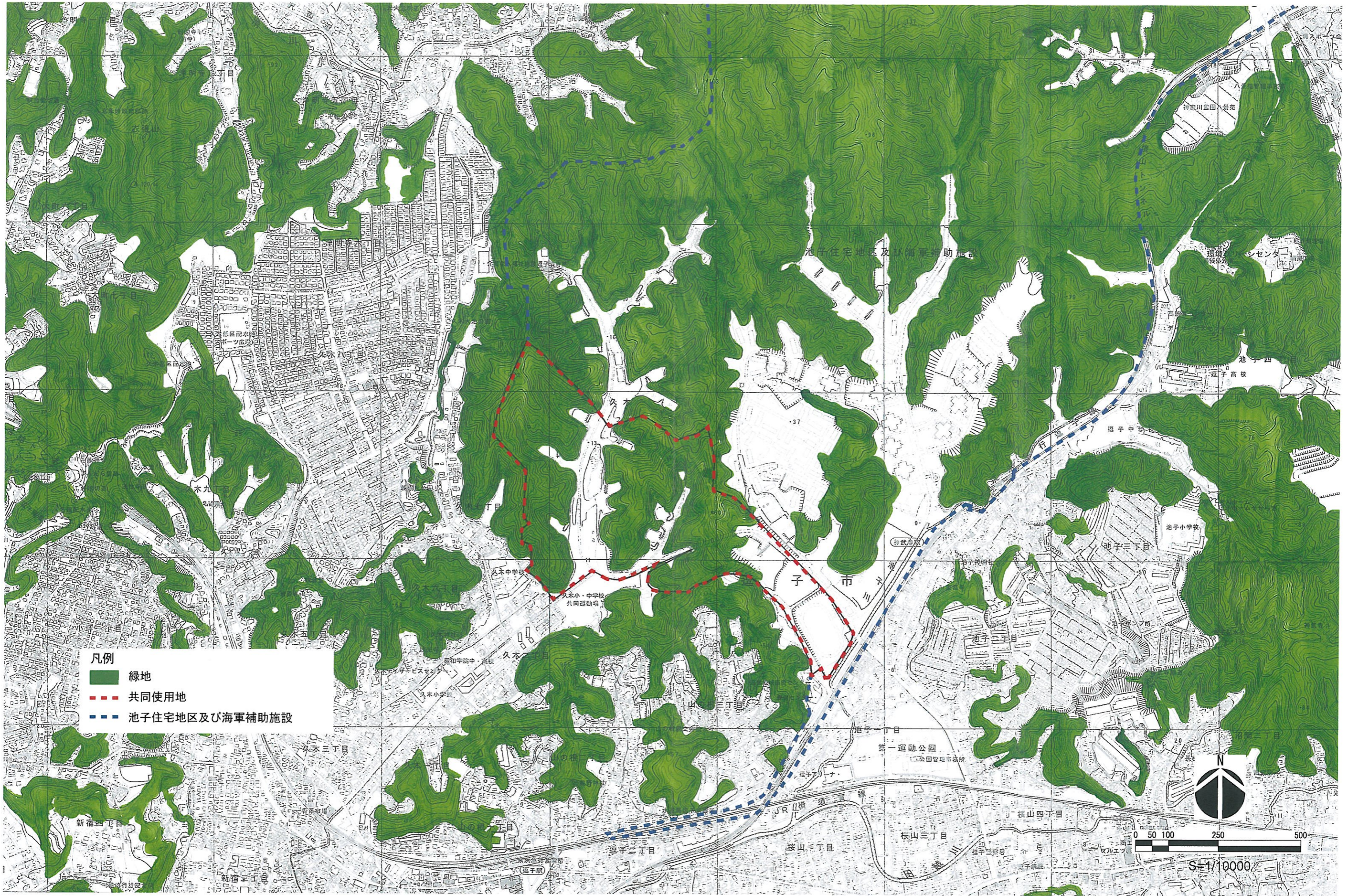


S=1/10000

図-2 水系

S=1:10000

LA-02



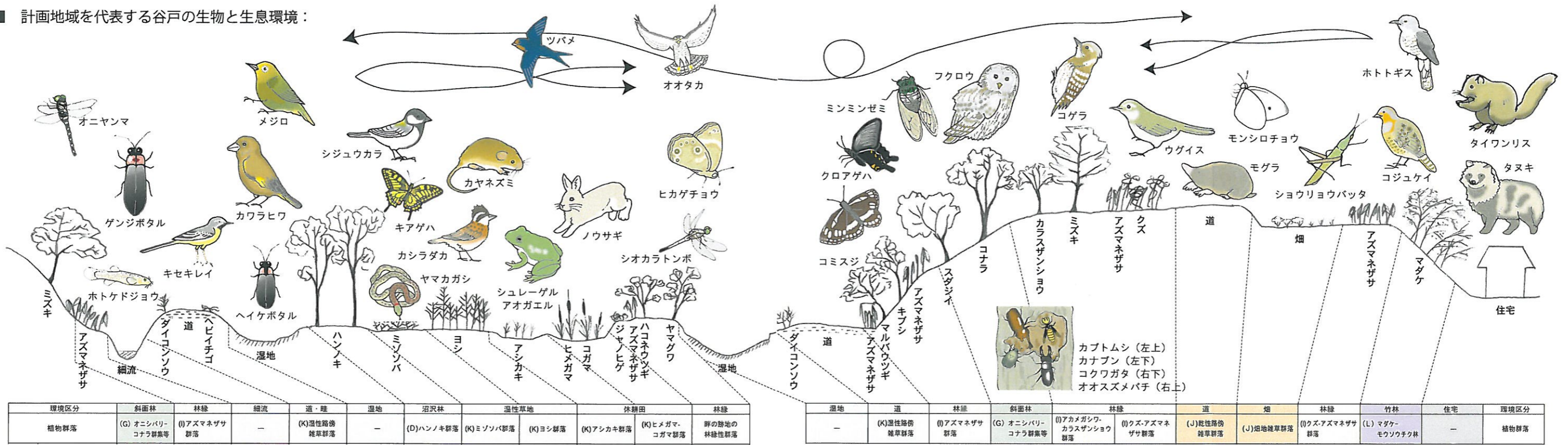
- 凡例
- 緑地
 - 共同使用地
 - 池子住宅地区及び海軍補助施設

図-3 緑地

S=1:10000

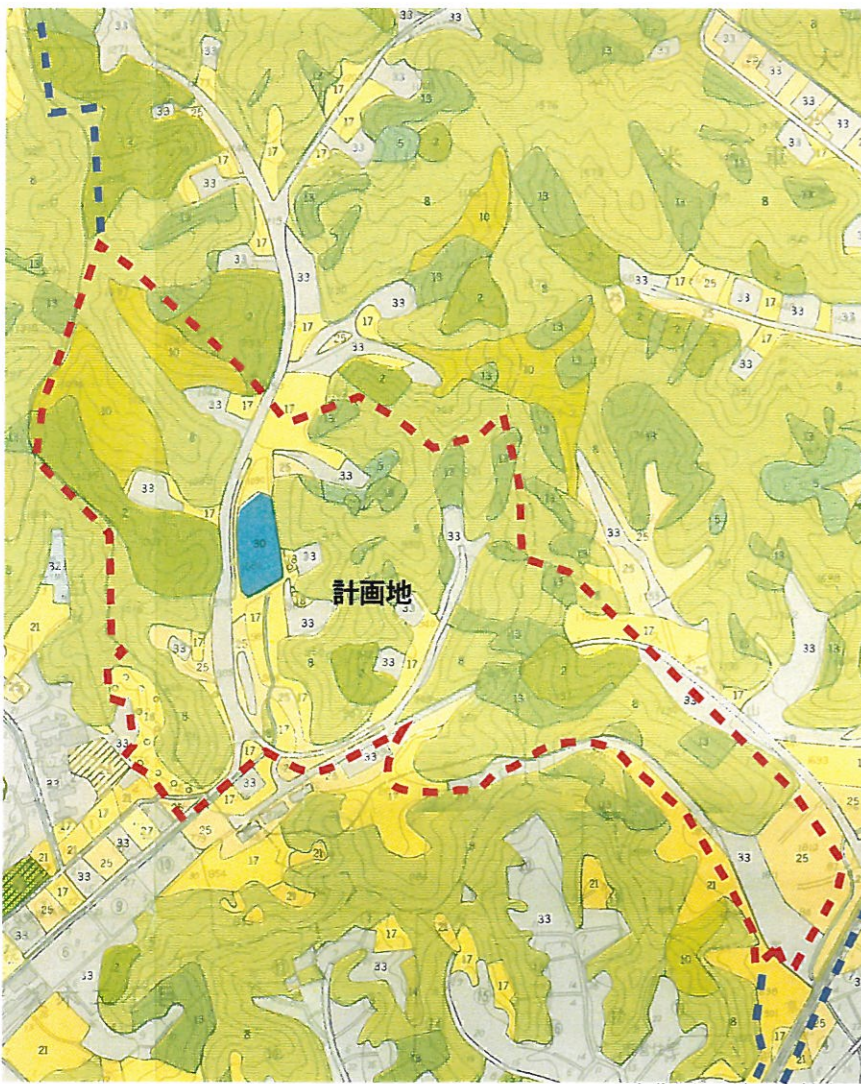
LA-03

■ 計画地域を代表する谷戸の生物と生息環境：

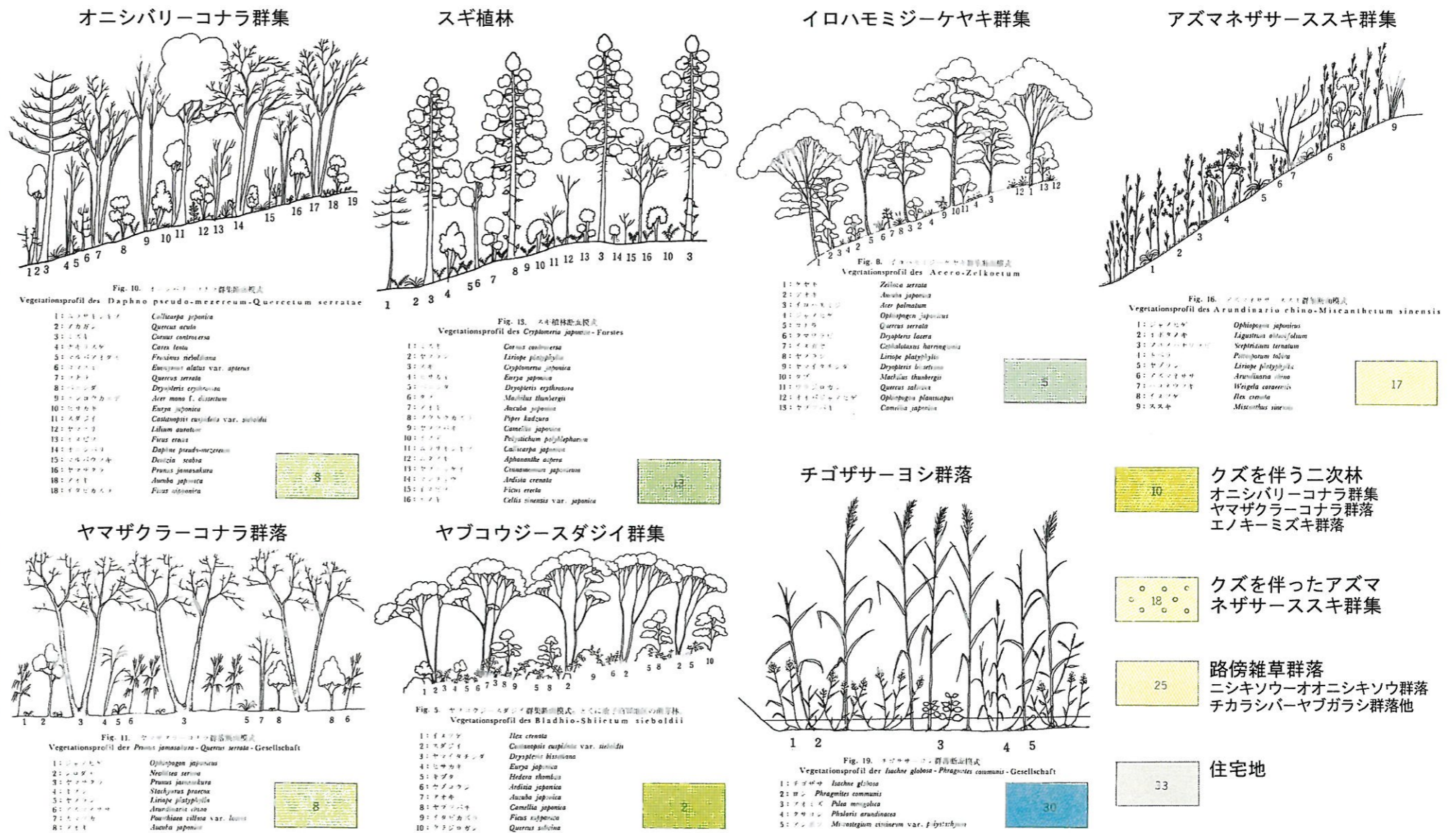


出典：鎌倉市自然環境調査概要版

■ 計画地の植生：



出典：逗子市現存植生図



出典：逗子市の植生 | 逗子市教育委員会

図-4 自然の現況についてのまとめ (植生)

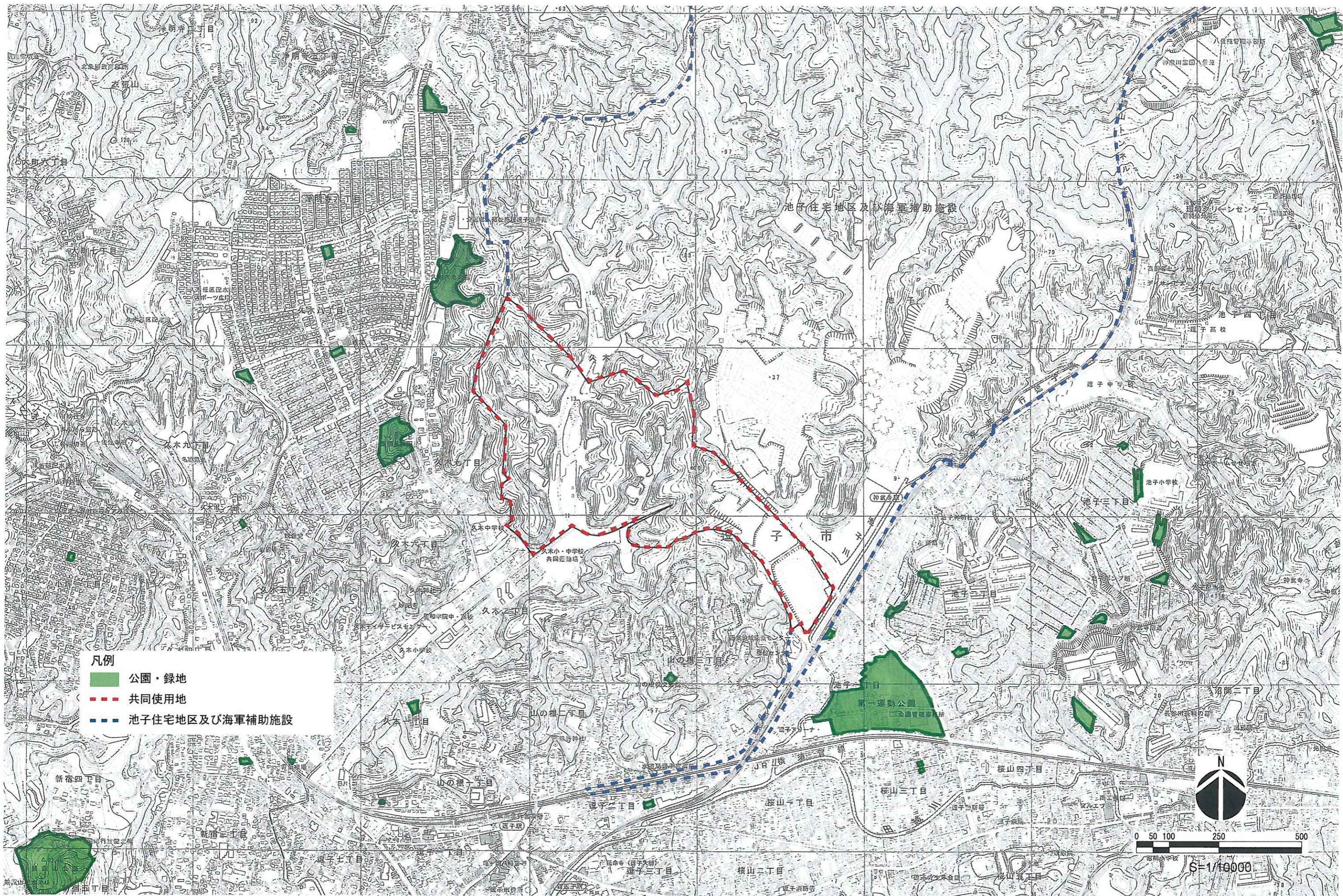
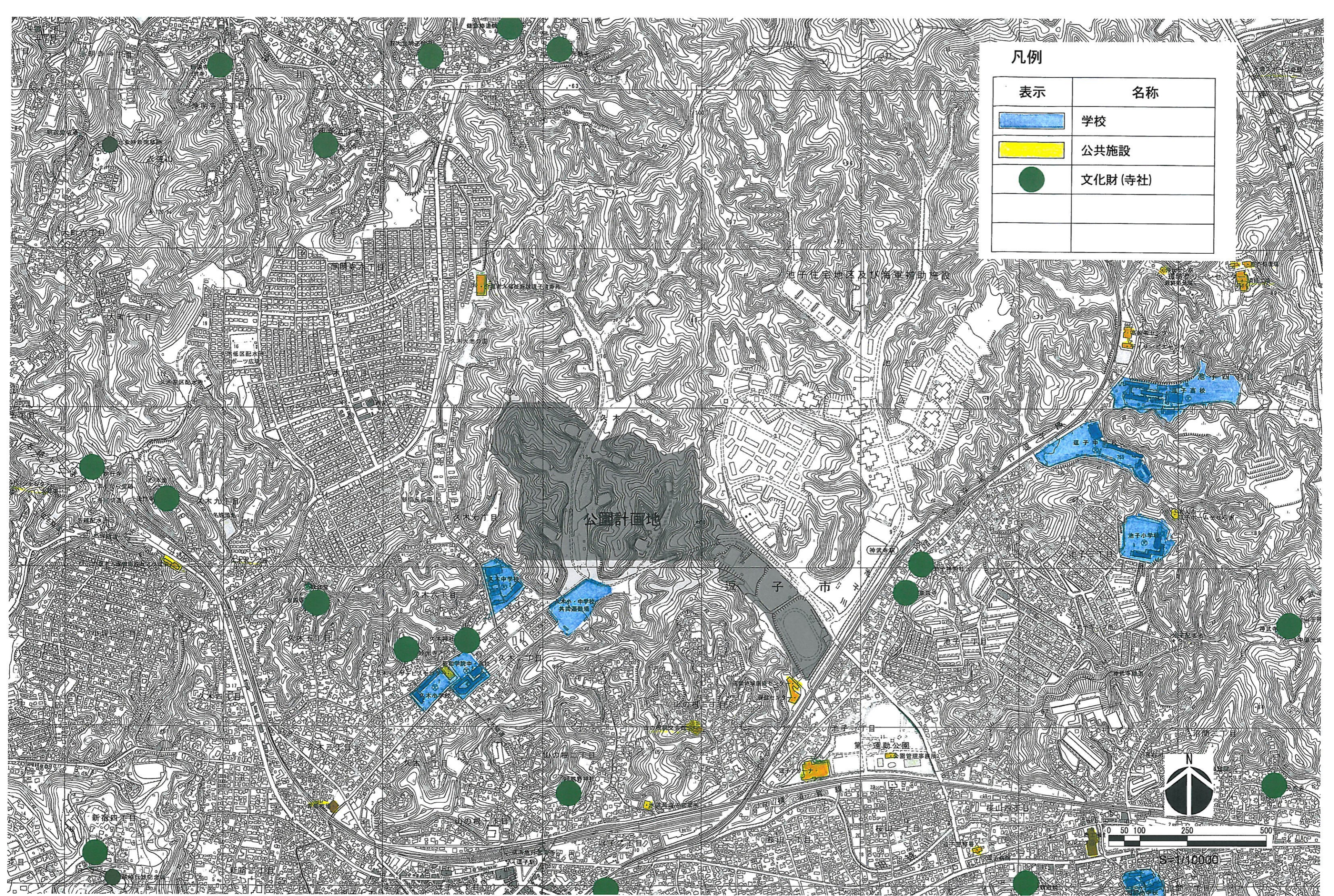


図-5 公園緑地

S=1:10000

LA-05






凡例	
表示	名称
	学校
	公共施設
	文化財(寺社)

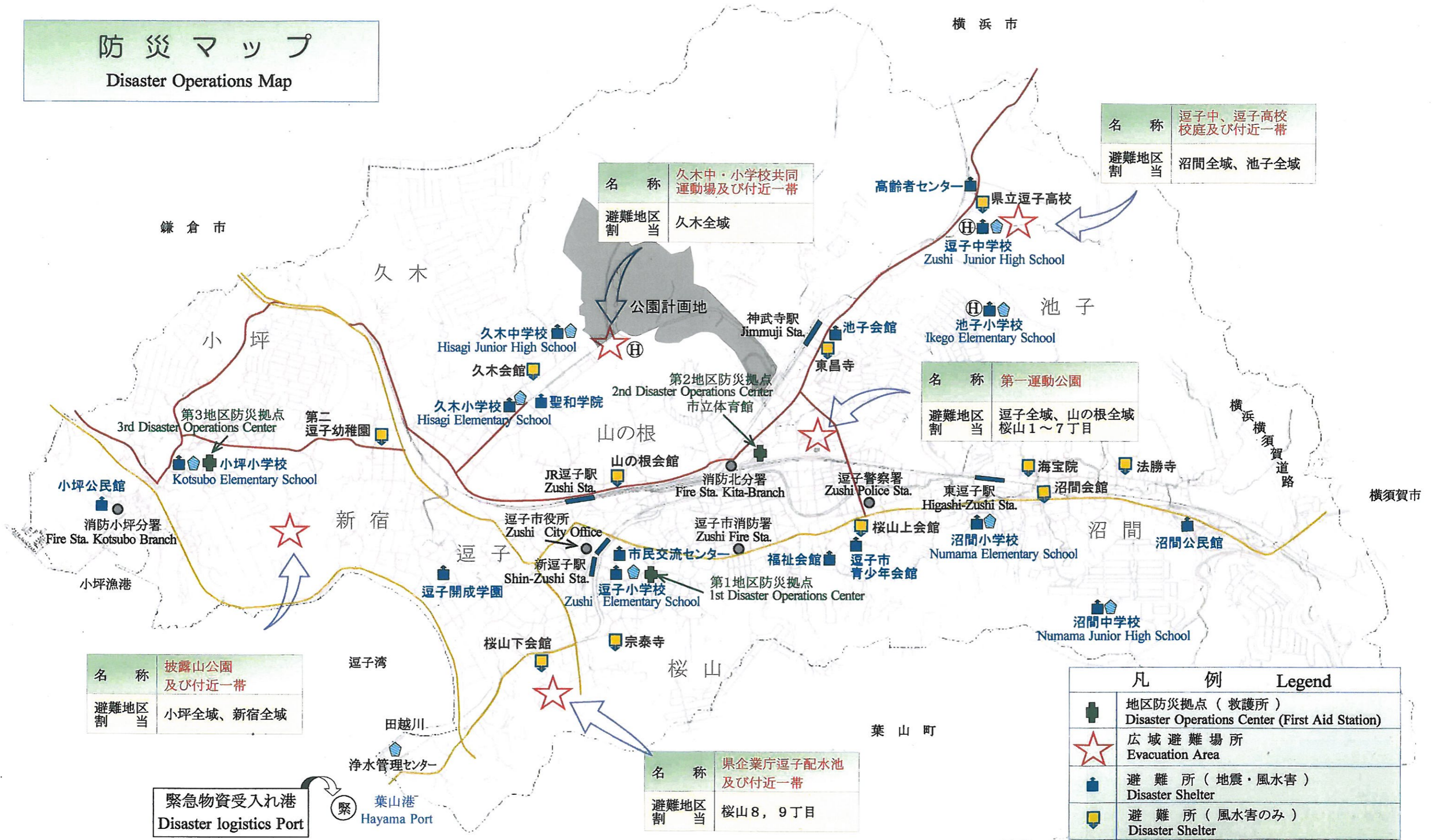
図-6 公園敷地周辺の学校、公共施設、文化財

S=1:10000

LA-06

防災マップ

Disaster Operations Map



名称	久木中・小学校共同運動場及び付近一帯
避難地区割	久木全域

名称	逗子中、逗子高校校庭及び付近一帯
避難地区割	沼間全域、池子全域

名称	第一運動公園
避難地区割	逗子全域、山の根全域 桜山1～7丁目

名称	披露山公園及び付近一帯
避難地区割	小坪全域、新宿全域

名称	県企業庁逗子配水池及び付近一帯
避難地区割	桜山8, 9丁目

緊急物資受入れ港
Disaster logistics Port

凡例 Legend	
	地区防災拠点（救護所） Disaster Operations Center (First Aid Station)
	広域避難場所 Evacuation Area
	避難所（地震・風水害） Disaster Shelter
	避難所（風水害のみ） Disaster Shelter
	緊急輸送道路・避難道路 Emergency Transportation Route and Main Evacuation Route
	避難道路 Main Evacuation Route
	防災資機材備蓄場所 Disaster Materials & Equipment Storage
	ヘリコプター臨時発着所 Emergency Heliport

一時避難場所	自宅付近の空地、学校、寺院、公園などの場所を日ごろから選んでおきましょう。
広域避難場所	大震災時の大火災から避難する場所で、生命を守るのに必要なスペースがある広場や空地が適しており、市で指定しています。
避難所	大火災の危険がなくなったが、住宅が被害を受け、居住の場所がなくなった場合や、斜面地崩壊のおそれがあり、居住することが危険な場合に避難する場所で、小・中学校の施設が当てられています。

出典：逗子市防災マップ | 逗子市

図-7 防災マップ

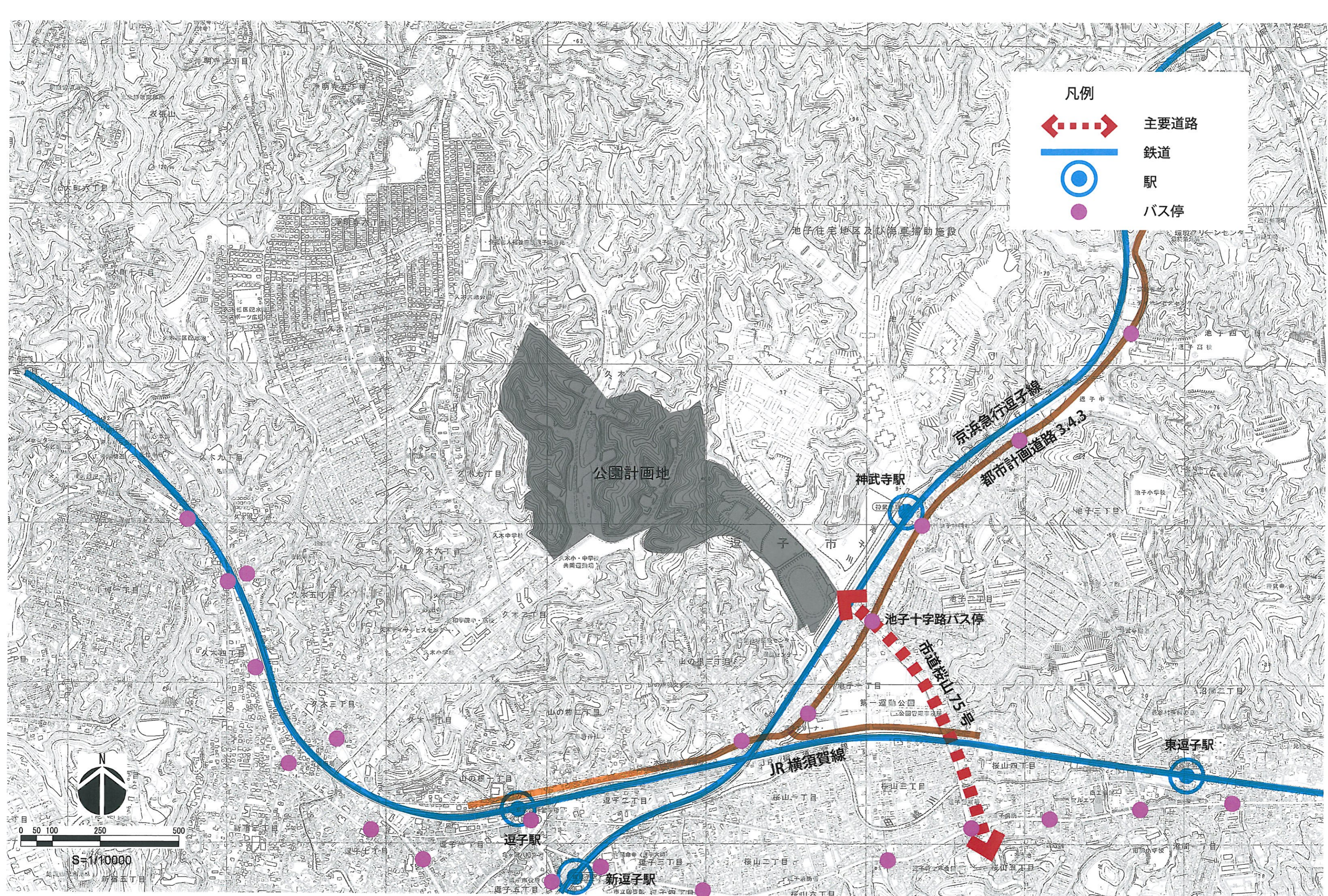
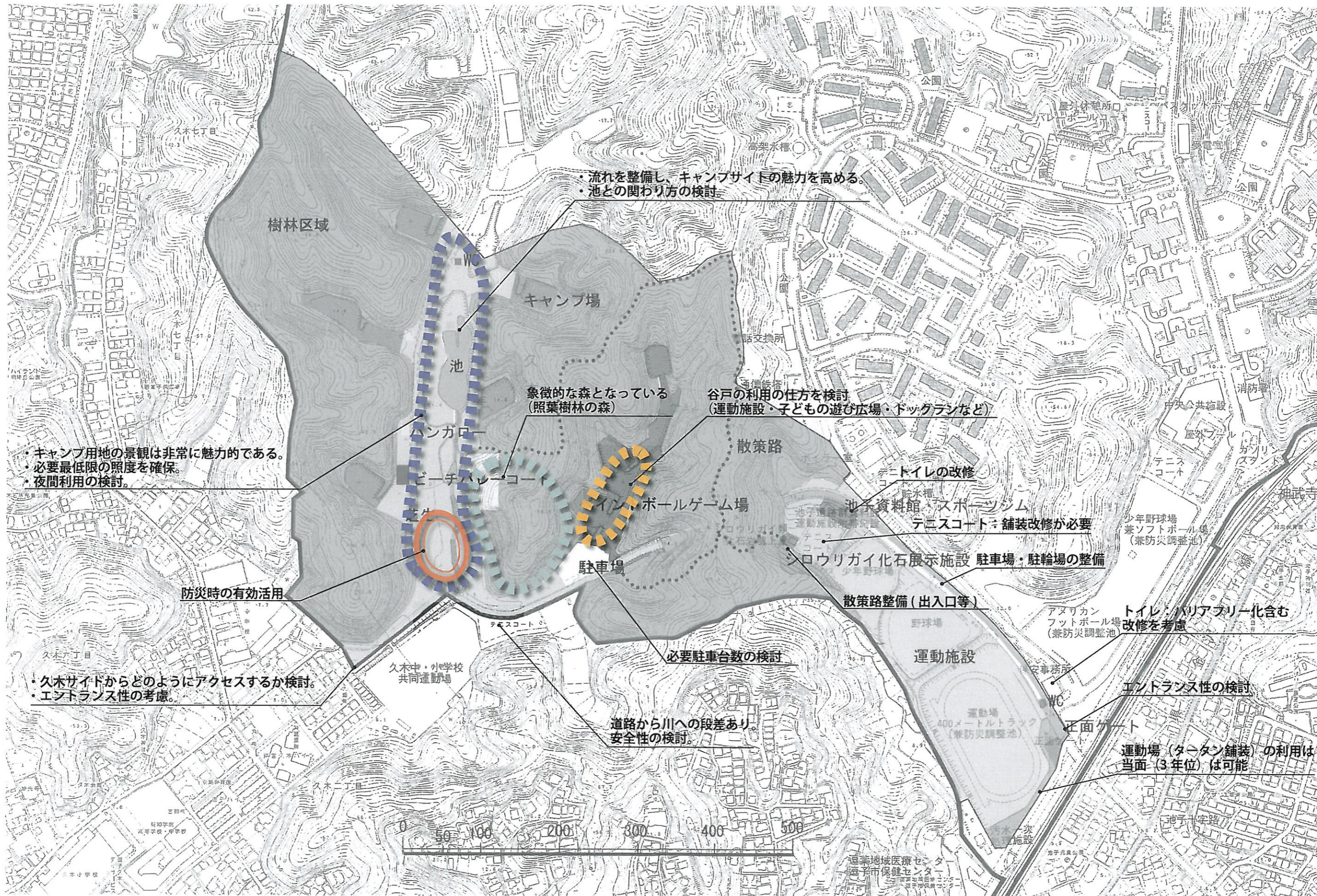


図-8 公園敷地周辺の交通（アクセス）

敷地踏査マップ



出典：逗子市

図-9 敷地踏査マップ

2) 敷地現況写真



7 散策路入口



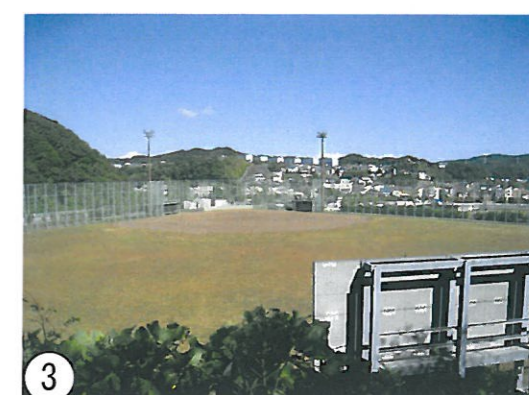
6 シロウリガイ化石展示施設



5 テニスコート



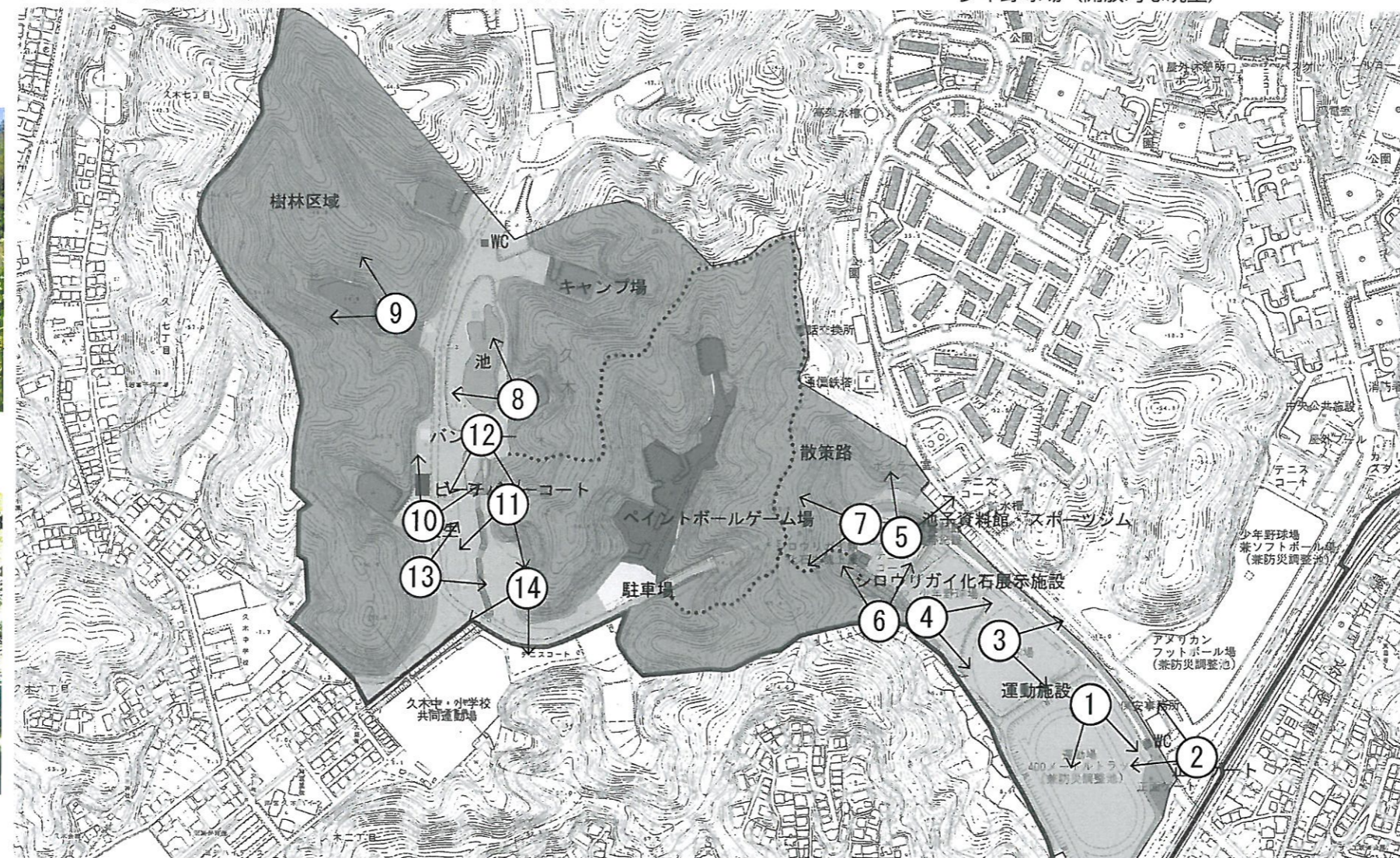
4 少年野球場（開放的な眺望）



3 野球場



8 池



2 トイレ



9 キャンプ場



1 400mトラック



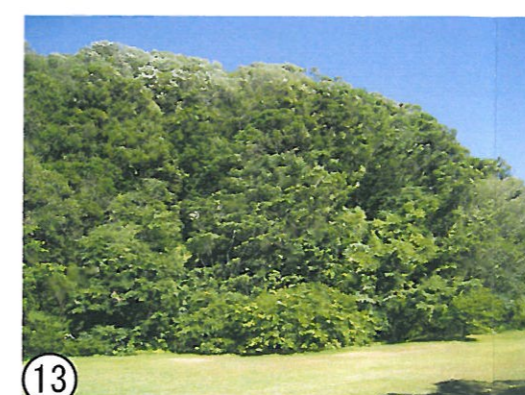
10 バスケットボールコート



11 美しい自然景観



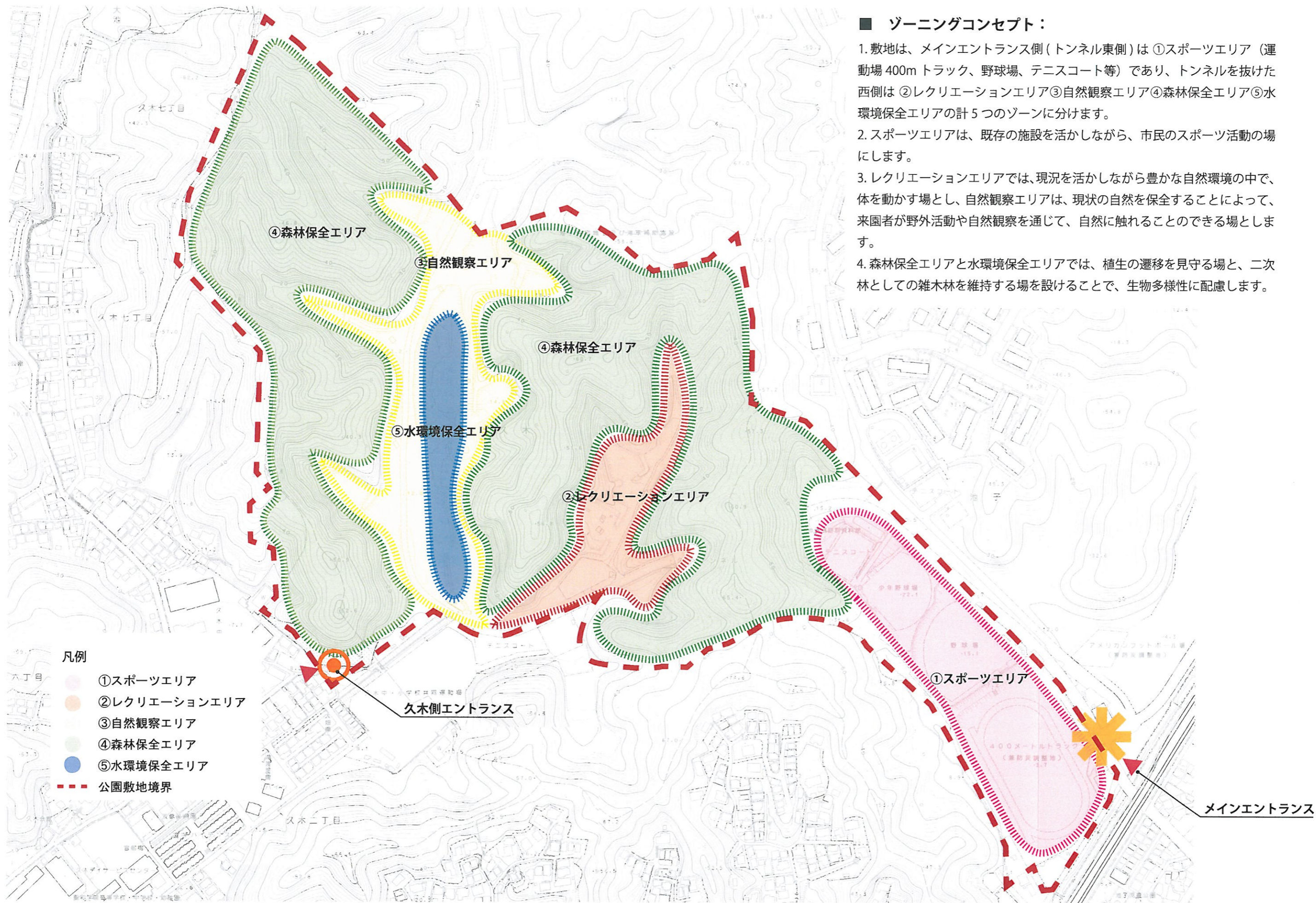
12 小川



13 象徴的な森



14 小川と道路側コンクリート擁壁



■ ゾーニングコンセプト：

- 敷地は、メインエントランス側(トンネル東側)は①スポーツエリア(運動場 400mトラック、野球場、テニスコート等)であり、トンネルを抜けた西側は②レクリエーションエリア③自然観察エリア④森林保全エリア⑤水環境保全エリアの計5つのゾーンに分けます。
- スポーツエリアは、既存の施設を活かしながら、市民のスポーツ活動の場にします。
- レクリエーションエリアでは、現況を活かしながら豊かな自然環境の中で、体を動かす場とし、自然観察エリアは、現状の自然を保全することによって、来園者が野外活動や自然観察を通じて、自然に触れることのできる場とします。
- 森林保全エリアと水環境保全エリアでは、植生の遷移を見守る場と、二次林としての雑木林を維持する場を設けることで、生物多様性に配慮します。

■ 動線の整備方針：

1. 基本的には現状の動線を大切にしながら整備を行います。
2. 散策路は現状を活かしながら整備します。
3. 自動車動線はメインエントランスからトンネル西側の駐車場までを基本にしています。

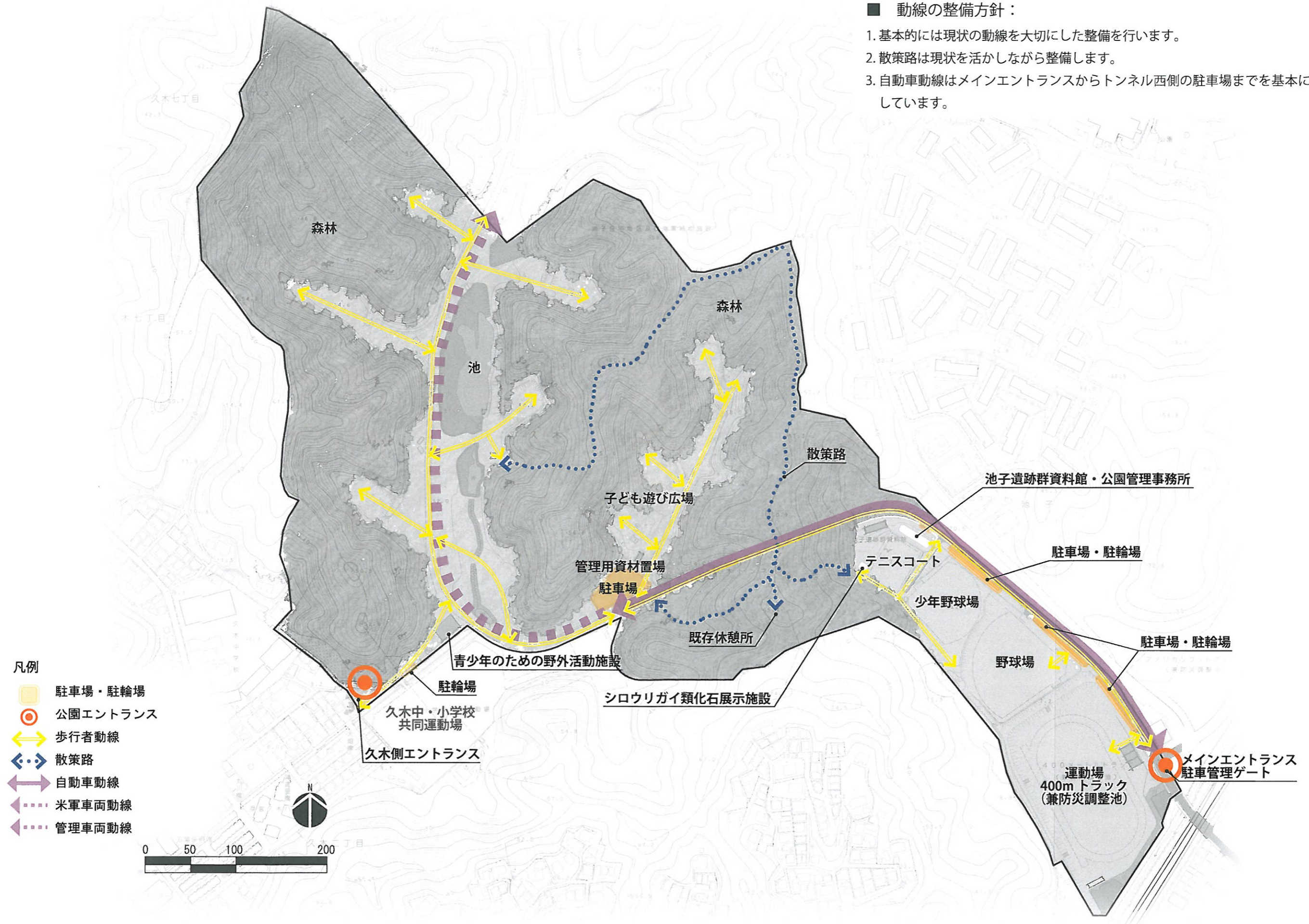


図-12 動線図

S=1:4000